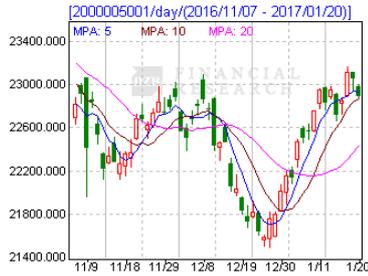




【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	19,827.25	94.85	0.48	-0.32	0.33	19,762.60
NASDAQ	5,555.33	15.25	0.28	0.14	3.20	5,383.12
日経225	19,137.91	65.66	0.34	-0.77	0.12	19,114.37
上海総合	3,123.14	21.84	0.70	0.33	0.63	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,354.89	25.60	0.77	1.05	1.35	3,310.08
ハンセン	22,885.91	-164.05	-0.71	-0.22	4.02	22,000.56
H株	9,715.72	-76.65	-0.78	-0.73	3.42	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.2%安と4週ぶり反落、上海総合指数は0.3%高

香港市場ではハンセン指数が1週間で0.2%安と小幅ながら4週ぶりに反落。週前半は資金流出懸念の後退で投資家心理がいったん強気に傾いたものの、週後半はイエレンFRB議長の発言などをきっかけに米利上げペースの加速観測が高まり、軟調な値動きとなった。ハンセン指数は18日に終値で約2カ月半ぶりに23000ポイント台を回復したが、20日には再び割り込んだ。上海総合指数は1週間で0.3%高と小幅ながら反発。様子見ムードが強いなか、週を通じて節目の3100ポイントを挟んだ値動きが続いた。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、27日後場から旧正月の連休入り

香港市場は上値の重い展開か。ハンセン指数は23100ポイント付近が上値抵抗線として意識されており、過去にもこの水準で調整してきた経緯がある。加えて27日後場から旧正月の連休に入ることもあり、全般に手控えムードも広がりやすい。イエレンFRB議長の発言をきっかけに再び新興国市場からの資金流出懸念が強まっており、相場の重しとなりそうだ。一方、本土市場は薄商いのなか、もみ合う展開か。旧正月連休を前に資金のひっ迫に対する警戒感は根強いが、全般に方向感に乏しい値動きが予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中銀香港 (02388)	30.40	3.75
2 AIAグループ (01299)	47.45	2.26
3 百麗国際 (01880)	4.71	2.17
4 瑞声科技 (02018)	76.60	2.13
5 電能実業 (00006)	71.80	1.77
6 ハンセン銀行 (00011)	152.50	1.67
7 昆侖能源 (00135)	6.16	1.65
8 長江インフラ (01038)	61.95	1.64
9 長江実業地産 (01113)	50.95	1.29
10 チャイナ・モバイル (00941)	86.40	1.23

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国蒙牛乳業 (02319)	14.00	-7.16
2 中国神華能源 (01088)	15.72	-4.03
3 リー&ソング (00494)	3.40	-3.95
4 中国海外発展 (00688)	22.30	-3.04
5 恒基兆業地産 (00012)	42.45	-2.64
6 ヘトロチャイナ (00857)	6.13	-2.39
7 信和置業 (00083)	12.54	-2.03
8 恒安国際集団 (01044)	59.00	-1.83
9 中国中信 (00267)	11.32	-1.74
10 ワーフ (00004)	57.00	-1.72

▼今週の期待材料

- ◆中国の10-12月期GDP成長率が6.8%と予想を上振れ、景気減速懸念の後退がプラス材料に
- ◆22日までにA株上場1731社が16年本決算の業績見通しを発表、増益や黒字転換の企業が約7割
- ◆中国証券当局が上場企業の資金調達に対する審査を強化する方針を表明、過大な資金調達抑制へ

▼今週の懸念材料

- ◆香港市場は27日後場から、本土市場は27日から旧正月の連休入り。全般に見送りムード強まる公算
- ◆トランプ米大統領が誕生、対中政策をめぐる強硬姿勢を示せば相場の波乱要因になる可能性も
- ◆ハンセン指数は23100ポイント乗せ後に調整、同水準が上値抵抗線として意識される公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 恒隆地産 (00101) : 26日に16年本決算を発表、市場予想は14%増益
- ☆ チャイナ・テレコム (00728) : 16年12月の4G加入純増数は前月比で6%増加
- ☆ 中国中煤能源 (01898) : 16年本決算は石炭価格回復で黒字転換の見通し
- ☆ 万科企業 (02202) : 2位株主による株式譲渡計画、国有資産監督管理委員会が認可
- ◇ 中国神華能源 (01088) : 16年12月の石炭販売量は5%増、前月から伸び率鈍化
- ★ デジタル・チャイナ (00861) : 16年本決算は最大44%の減益見通し
- ★ シノペック石油工程技術服務 (01033) : 16年本決算は業況悪化で赤字転落の見通し
- ★ エン州煤業 (01171) : 16年10-12月の石炭販売量が7%減少、生産量は5%増
- ★ 中海石油化学 (03983) : 16年本決算は赤字転落の見通し、販売価格の下落が響く
- ★ 光大証券 (06178) : 16年本決算は60%減益の見通し、市況低迷が響く

▼今週の主なイベント

- 1月26日(木)
- 【香港】貿易統計(12月)
- 【中国】工業企業利益(12月)
- 1月27日(金)
- 【香港】旧正月で後場休場(31日まで)
- 【中国】旧正月で休場(2月2日まで)

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。